

ニ刑部親王ト記セルヲ始トス蓋シ此時ニ定メラレタルモノナラン、此ヨリ後ハ何レモ某  
親王又ハ某内親王ト書シテ、名ノ下ニ連稱スルコト、ナレリ。

親王ノ座次ハ、常ニ諸王諸臣ノ上ニアリテ、諸王諸臣ハ、朝堂ニ在テハ座ヲ避ケ、途上ニ於テ  
ハ歩ヲ讓ラザルベカラズ、其他親王罪ヲ犯セバ、先ヅ其罪ヲ議センコトヲ奏請シテ裁可ヲ  
請ヒ、其薨ズル時ハ、天皇爲メニ朝ヲ廢シ、賄物ヲ賜ヒ、使ヲ遣シテ葬事ヲ監セシメ給フ等、待  
遇極メテ優渥ナリ、其位階ハ品ト稱シテ、諸王諸臣ニ分チ、一品ヨリ四品ニ至ル、品ニ叙セラ  
レザルヲ無品親王ト云フ、蔭子ハ初メ從四位下ニ叙セラル、ヲ例トス、官ハ大臣、太宰帥、八  
省卿等ニ任ジ、或ハ彈正尹、三國大守等ニモ任ゼラル、是レ親王ハ人臣ノ下ニ立タザル制ナ  
ルヲ以テ、長官タルヲ得レドモ、次官タル可ラザル故ナリ、俸祿ニハ品田アリ、食封アリ、時服  
及ビ季祿アリ、所屬ノ職員ニハ、文學、家令、家扶家從、書吏、及ビ帳内等アリ、中古以降ハ勅別當、  
家司、職事、藏人、侍者、御監等ヲ置キ、特ニ内舍人、大舍人等ヲ賜フモアリ、而シテ此等ノ俸祿職  
員ハ、其品位ニヨリ、又ハ官職ニヨリテ多寡均シカラズ、又男女ニヨリテ其數ヲ異ニシ、大抵  
内親王ハ男親王ノ半ヲ減ジテ賜フヲ定例トス、後世ニ至リテハ、封戸ノ制多ク行レズ、年官  
年爵ヲ以テ俸祿ニ代フルニ至レリ。

内親王トハ、天皇ノ皇姉妹皇女等ノ稱ニシテ、天武天皇ノ紀ニ始テ見エタレドモ、之ヲ名ノ  
下ニ連書スルハ、文武天皇大寶元年ノ紀ニ、泉内親王、大伯内親王ナドアルヲ以テ濫觴トス、  
内親王ノ臣下ニ降嫁セルコトハ、古クハ醍醐天皇ノ皇女勤子内親王、及ビ韶子内親王ノ藤  
原師輔源清蔭等ニ降嫁セル、近クハ後陽成天皇ノ皇女清子貞子ノ兩内親王ノ、鷹司信尙及  
ビ二條康道ニ降嫁セル類是ナリ、後世攝關ニハ其例甚ダ多カレドモ、其他ニハ只徳川氏ニ  
一二ノ例アルノミニテ、靈元天皇ノ皇女吉子内親王ノ七代將軍家繼ニ結納ノ儀アリ、仁孝